

留 学 報 告 書

記入日：2012年10月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ（アイオワ州）
留学先高等教育機関名 （和文及び現地言語）	アイオワ大学 University of Iowa
留学期間	2011年8月～2012年5月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	1年生（Visiting Student）年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	Liberal Arts and Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2012年5月10日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月下旬～12月中旬 2学期：1月中旬～5月上旬 3学期：2期制のためなし。 （記入例/1学期：4月上旬～7月下旬，2学期：9月中旬～2月上旬）
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 （アメリカドル）	円	備考
授業料	0\$（協定校留学外の前期の分は約6000\$）	円	
宿舍費	\$8,800（2期分）	円	
食費	&2600（1日2食食堂、2期分、自費のものは含めない）	円	
図書費	\$500（2期分）	円	
学用品費	\$100（ノート、バインダー等）	円	
教養娯楽費		円	
被服費	\$700	円	
医療費	\$200	円	
保険費	事前加入	160000円	形態：明治大学のもの
渡航旅費	\$1,300	円	
雑費	\$1,00	円	大体。
その他	\$4,000	円	旅行等（冬休みの1ヶ月半は寮を使えなかったため、ずっと旅行していました。）
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路: 成田～シダーラピッツ空港(往路: 成田～デトロイト～シダーラピッツ/復路: アイオワシティ～シカゴ(大型バス)、シカゴオヘア空港～ロサンゼルス～成田)

渡航費用

チケットの種類	行きは片道 (帰国予定日が未定だったため)
往路	24,000 円
復路	65,000 円(\$800)
合計	305,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスペディア、Cheap Air, Travelo City(全てインターネットで申し込み)

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

大学寮(Currier Hall)

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数)

3) 住居を探した方法:

事前の資料とフォームで申し込み(部屋の種類等は抽選)

4) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

事前申し込みで、シングルを何が何でも希望したので、それが当選して無事シングルルームで1年間過ごすことができました。その点は良かったと感じています。やはり、ルームメイトと暮らしていた友達はトラブルを抱えることが多かったようで、シングルにして正解だったと感じています。ただ、シャワーとトイレは隣の部屋の生徒とシェアでした。シャワーはシンプルだけど、お湯もしっかりでて綺麗だったので満足です。

ルームメイト(シャワートイレメイト?)との関わりもありました。部屋は別でも、風呂トイレ共有なので、コミュニケーションは必要。でもきさくでまじめな生徒だったのでそこまで大きなトラブル等なく、仲良くなれました。部屋ではシングルなので、ストレス等溜め込むことも少なかったように思えます。留学先で、授業やイベント等で嫌でも色々な海外の方と絡む機会が増えますので、語学勉強のためにダブル等を選ぶ必要はないと思います。日本人の友達は、ルームメイトでストレスを抱えていた方が殆どだったので、部屋では1人でリラックスできる時間を作るシングルルームをおすすめします。(1人部屋は少し高くなってしまいますので、金銭面の理由がある方は別ですが・・・)

また、大きな寮でしたので、設備(ピアノルーム、ランドリー、大きな自習室、パソコン室(パソコン役50台)、レクルーム(卓球、ビリヤード等)自販機、コンビニ、ジム等)がしっかりしていたので、充実していました。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用、または留学希望者用の、International Office というものがあって、そこで対応していただけました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

最初のオリエンテーションで、この大学はパーティーが多いので女性は気をつけるように等言われました。また、夜の1人歩きは極力控えるように言われました。オリエンテーション終わりに、危険防止のパンフレットや、プリント等を配布されました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学自体が広い街のようになっており、学生はIDとパスワードで、その街内であれば、Wi-Fi がつなげられるので、ネット環境は大変良かったように思われます。たくさんある校舎内は全部使用可能でしたし、校舎外でもキャンパス内であれば、割と繋がりました。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
最初に、アイオワシティの銀行(ヒルズバンク)の銀行口座を開設し、学費の支払い等はそこからやっていました。 資金が足りなくなったときは、あらかじめキャッシュパスポートを作っていたので、メールで親に連絡し、そこへ送金してもらいました。
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
必需品でしたら、洗顔料や歯磨き粉等は日本のもので自分の肌に合ったものだと思います。現地でも大きな薬局等がありますが、成分が日本人には合わなかったりします。 また、読書が趣味なので日本の小説や漫画は両親に送ってもらっていました。
進路について
1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 就職予定
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
これから就職活動ですので、特にはまだありません。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8 (加えて前期の語学コースの授業) 単位	<input type="checkbox"/> (まだ認定されていません) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名 (留学先大学言語):	履修した授業科目名 (日本語):
Social Media Today	現代のソーシャルメディア
科目設置学部・研究科	College of Mass Communication&Journalism, Liberal Arts and Science
履修期間	2012. Spring (2012 年春学期、2012.1 月～5 月)
単位数	3
本学での単位認定状況	(未) 単位認定 (本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、週 2 回 50 分、Discussion 週 1 回 50 分 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Mellisa Tully, Shawn Harmsen
授業内容	名前の通り、現代の Social Media について学習しました。大きなテーマは、SNS 等が現代社会にどう影響を与えているか。細かく分けると 15 週でそれぞれテーマが設定されており、歴史、医療、戦争、教育・・・等に焦点を当て、SNS がどう影響しているかなどを考えます。
試験・課題など	その週のテーマについて簡単なレポート (Writing to Learn) → 毎週 (Discussion の授業時に提出) テスト → 中間と期末 2 回。 Academic Report → 期末テスト前に 1 回。 Twitter Assignment → 毎週 授業資料 → 毎週プリント 30 枚ほど。教授がページ (明治でいうオー Meiji 的なもの) にアップするので、それを各自でコピー。毎週 3～5 種類の文献を事前に読む。(1 種類 5 ページくらい) 読まないで、講義の内容の意味がなくなってしまう。チェックなどはないので自主学習としてやる。
感想を自由記入	<p>事前に履修登録の際にアカデミックアドバイザーの方から、「ジャーナリズム学部の授業は 1 番レベルが高いので、留学生にはきついかも」と言われていたのですが、本当にその通りでした。教科の通し番号 001 で最も基本的なコースでしたが、テスト含め、内容や単語等も非常に難しく骨が折れました。実際に、短期留学生で履修している人はほとんどいなかったです。(4 年間の学部生徒でアジア人の方は何人かいました。)</p> <p>講義の方は、教授が 50 分をフルに使い、その週のテーマをイントロから入り、映像や、写真などを使用して、考えを述べていくものでした。話す単語も、スピードも速くて難しかったです。ただ、内容は基本的なものも多々あるので、それに焦点を当てていく覚悟で、学べるものは多かった気がします。</p> <p>ディスカッションの方は、20 人前後の生徒で、助教授の方がリードして、5 つくらいにトピックについて話し合います。全部が難しいトピックについて話すのではなく、最初に生徒にその週の講義で分からなかったこと、疑問に思ったこと等をピックアップして、それについて、3～5 人くらいのグループになって話し合いをします。優しい生徒はすごく丁寧に接してくれたり、気にかけてくれるのですが、ぶっきらぼうな人と完全無視されたりしたこともありました。留学生 = 英語ができなく話が通じないイメージというのがあったようです。実際になに言ってるか分からないことも多々ありました。やはり、journalism の授業をとってしっかり勉強するのなら、英語力は必要以上に必須だなと感じました。内容はもちろん、生徒のレベル、単語のレベルも高いからです。</p> <p>しかし、上記のように四苦八苦していた私でも何とか単位はとれました。課題をしっかりとこなして、また、助教授の方がとても気にかけてくださる方でしたので、何回かオフィスアワーに行き、「1 対 1 で復習したり、教えてくれたりしました。アドバイスもくれ、時には、気さくな話をしたり世話をしていただいたので、とても助かりました。オフィスアワーでは大体 1 時間くらい面倒を見てくれました。</p>

履修中は大変で、何度も挫折しかけたけれど、大変な分だけ、得たものはたくさんある気がしますし、自分に足りないものも見えた気がして、非常に充実した授業だったと私は記憶しています。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Beginning Jazz	ジャズダンス（初級）
科目設置学部・研究科	Department of Dance
履修期間	2012. Spring (2012年春学期、2012.1月～5月)
単位数	2
本学での単位認定状況	(未) 単位認定 (本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	
授業内容	ジャズダンスの初級クラス。基本的な身体の動かし方から入り、最後は自分で振りを作って、踊るまで仕上げる。
試験・課題など	レポート→学期の最初と最後に1回ずつ。学問的なものというより、自分の課題や、この授業の目標、学んだことを書く 学期で3回以上、ダンスコンサートにいき、感想をレポートにして提出→1学期で3回 中間テスト→実技 期末テスト→実技 期末発表→グループで振りを作る所からみんなの前でパフォーマンスまで全部
感想を自由記入	ジャズダンスの授業です。明治大学で少しだけジャズダンスのサークルに入っていたことや、見るのが好きだったことがきっかけで履修しました。ダンスの実技授業は人気で、運良くキャンセルの人が現れたから取れました。先生も優しい方で毎回毎回が楽しかったです。運動不足解消にもなるし、ダンスのコンサートを見る機会にもなるとても良かったです。履修者は、僕以外は全員女性でしたので、最初は心細かったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
ESL Oral Communication Skill	ESL オーラルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	English as a Second Language
履修期間	2012. Spring (2012年春学期、2012.1月～5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	(未) 単位認定 (本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Jamie Fosdick (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	
授業内容	ESLの授業で、オーラルに絞って展開していくクラス。
試験・課題など	毎週の宿題→教科書の予習 プレゼンテーション→学期に4回(意見を述べるタイプ×2、Informative型、Imprompt×1) 中間テスト、期末テスト→プレゼンのやり方などの問題。
感想を自由記入	ESLの授業で、学部留学生は好きなだけ履修できるので、これを選びました。コミュニケーション能力を伸ばすにはいい授業です。また、1クラス12人くらいの生徒です。周りは留学生のみです。プレゼンのポイントを教えてもらうだけでなく、実践する機会が4回もあったため、すぐくためにも経験にもなりました。この授業を通じて、留学生の友達もできました。先生もとても面倒見が良く、毎回プレゼン終わったあとに、1対1で30分程のフィードバックをしてもらえました。(希望者だけ、授業時間外にです。)

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Art of the Theatre	舞台芸術
科目設置学部・研究科	College of Theatre Arts
履修期間	2012. Spring (2012年春学期、2012.1月～5月)
単位数	3（私の都合でFinal Examを受けられなかったため、修得単位は0です。）
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Clippard
授業内容	せい
試験・課題など	<p><Acting> 演技披露→3回。先生が用意したシナリオをみんなの前で演じる。1回目は個人ワーク。2回め、3回目は、ペアワーク。1期を3テーマ分に分けるので、最初の4週がActingだったため、ほとんど毎週発表があった。3回目は、本物の劇の1シーンを演じる。全部大体5分くらい。</p> <p><Play Writing> シナリオを書く作業→2回。レポート2～3枚にして提出。1回目は、自分の見た夢を現実風にアレンジして、劇台本のように書く。2回目は、自分の周りで起こったことを劇台本のようにアレンジして書く。</p> <p><Final Performance> 先生が用意したオリジナル台本で1つの舞台をやる。大体30～40分。小道具や衣装も全部自分たちで用意。</p> <p><Other Works> ・3回ほど、指定された演劇を見に行き、感想をレポート2枚。頻度は月1回（2月、3月、4月） ・3つ、指定された中から映画を見て、その作品についてレポート。感想ではない。注目した点や、演技論、授業でやったポイントを使っているかなど、客観的に俳優を評価する。</p>
感想を自由記入	<p>舞台の授業です。日本でもミュージカル、お芝居をやっているのでも、とても勉強にもなったし、日本でやっていた活動をアメリカでも体験できて良かったです。</p> <p>実践的なものだけでなく、レポートなどもあったので、知識もつけられました。また、各回の授業が120パーセント、コミュニケーションでできているので、履修者と演技をしたり、話し合ったり、エクササイズをしたり・・・といった中で、コミュニケーション能力も鍛えることができたと感じています。もちろん日本人は僕だけだし、英語もそれほど自信が無い中で、色々な生徒と課題をやれて良かった。</p> <p>演技論、舞台史などの知識、舞台芸術に関することはもちろん、それに加え、生徒とのコミュニケーション＝外国人とのコミュニケーションでできている授業でもあるので、ネイティブの友達が欲しい方などにも履修をおすすめしたいです。もちろん、舞台、お芝居に興味がある人もです。</p> <p>基礎からやっていくので、人前で喋ったり、パフォーマンスをする自信さえあればやっていける授業です。先生が院の方なので、たまに高いレベルのものを求められたりもしますが、楽しくやっていくのが1番な授業だと感じました。</p> <p>ただ、その分、出席や、課題には厳しいです。上記に挙げた課題全てに配点があるため、学期の成績は1000点満点で計算されていました。</p> <p>帰国日の都合で、Final Performance後のReflectionに参加できなかったため、単位はもらえず[F]となってしまいましたが、それでも、とてもためになった授業だと感じています。</p>

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Japanese Modern Fiction	現代日本文学
科目設置学部・研究科	Asian Literature and Culture
履修期間	2012. Spring (2012年春学期、2012.1月～5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Nicholas Theisen
授業内容	日本の漫画を学ぶ授業。 個々の様々な漫画から、漫画の知識とその背景をも。
試験・課題など	1期に3回のレポートと、1回のプレゼンテーション
感想を自由記入	国際日本学部ですし、面白そうだと思って履修したのですが、若干批判的な見解ばかりを述べる内容だったので、途中で履修をキャンセルしてしまいました。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて受験した TOEFL が 41 点で目標に全然足りてなかったため、勉強 ・短期留学 (1ヶ月)
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL 受験 67 点
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・短期留学 (1ヶ月、明治大学のプログラム)
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL 受験→69 点 ・協定校留学における留学先の決定や、面接等の準備 ・協定校留学合格 (但し条件付き)
2011年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・5月までに TOEFL を 71 点以上との条件だったため、TOEFL の勉強
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学準備、VISA 申請、現地情報収集
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・航空券手配 ・出国